



佛事の常識・非常識



Q:大みそかになぜ除夜の鐘をつくのですか？A:人間の煩惱を取り除くためです

今回は少し時が過ぎてしまいましたが、年末の仏事「除夜の鐘」について考えてみましょう。そもそも「除夜」とは、大みそかの夜の事です。どういうことかということ、大みそかは、一年の最後の日で、古い年を除き去り、新年を迎える日との意味から「除日（じょじつ）」といい、その夜なので「除夜」や「除夕」と言います。除夜の鐘で鐘がつかれる回数は、人間の煩惱の数が108あることから、それを取り除くために108回つくのです。除夜の鐘は、大みそか、つまり午後12時までに108回つかれると思われがちですが、午後12時までに107回つかれて、残りの1回は、その年の煩惱に煩わされないようにという意味を込めて、新年になってからつかれます。ちなみに徳成寺では、戦災から後には鐘つき堂を建てることもなく今日に至っており、除夜の鐘についておりません。また私なりの解釈は、除夜の夜とは、人間の心の闇＝無明煩惱のことではないかと思います。何でも知る知恵は、己自身を知りません。気づくことで消える煩惱への警鐘が除夜の鐘ではないでしょうか。

寺ともさん・ごぼれ話

門徒さんはじめ、多くの寺ともさんから年賀状を温かいメッセージとともに頂戴致しました。この場をかりて御礼申し上げます。大変上手に筆で書いて下さったもの、新春にふさわしい和歌を書いて下さった方、昨年旅行に行かれた先々の写真入りのもの、初孫の写真入りや愛犬の写真入りのもの。得意の絵・版画を描いて送って下さる方、言葉の迷路を作って下さる方、年賀状のためだけにコスプレ衣装を身につけて4コマ漫画を作成して下さる方などなど。本当に様々な年賀状を送って頂きました。年初めの大きな楽しみです。中でも、「去年はいろんな行事に参加して大変楽しく過ごすことができました。今年も楽しみにしています。そしていい友達もできたのも、寺とものおかげです」というメッセージが心に残りました。お寺を縁にして、友達の輪・和が広がるのが、孤立化・無縁化する世の中にあって大変意義深いことだと思えます。たとい地縁・血縁が薄れたとしても、寺とも縁が人々の間にしっかりと根をはっていきよう今年も発信し続けたいと思えます。

ご自慢のペットちゃん

名前：レンゲ
性別：♀
お年：10歳
種類：チワワ
好物：車の中にいること
苦手：お酢
住所：藤原さん宅(島根県)
性格：西楽寺の裏坊守



ペットちゃんを募集しています

エピソード：昨年12月に島根からお招きした藤原ご住職夫妻と一緒に来ていたのが、実はこのレンゲちゃんです。レンゲちゃんは車に乗っていると御機嫌なので、長旅も全然苦になりません。子犬のころから食欲旺盛で、つい与え過ぎて腸カタルになり入院した事があるそうですよ。当時は太り過ぎて歩けなかったとか。それ以来与え過ぎないように、ヘルシー食に代えてからは随分とスマートになりました。大切な家族の一員ですから、栄養管理も大事ですね。

FM香川ウィークエンドシャトル生放送・スタジオ出演



10/29午後2時すぎ放送

昨年の10月、瀬戸のやすらぎ「お披露目会」をFM香川金曜日の番組で取り上げて頂きました。当日のゲスト桂こけ枝師匠と司会の筒井智子さんが、上手に盛り上げて下さいまして、お陰様であるような大成功になりました。最後に3人で左の記念撮影をしました

おまけ

今回はとびきり参加者がたくさん来られました。いつも限りですか？次回からは前日までに予約して下さいね。ビゴ大賞はホトケノボットでした。昨年は来た人も、来年チャレンジして下さい。

◎かわら版不要の方は恐れ入りますが087-821-6348へご連絡を。